

令和7年度

谷山北中 学校運営協議会



【生徒会の子どもたちが考えたスローガン：真の笑顔があふれる谷山北中学校に】

場所：鹿児島市立谷山北中学校 校長室

第1回学校運営協議会

1 日 時 令和7年5月20日(火) 15:30～16:40

2 場 所 鹿児島市立谷山北中学校校長室

3 出席者

番号	氏 名	役 職 等
1	藤元 裕司	P T A会長(R7長)
2	藤元 一弘	青少年健全育成部長(R7副)
3	徳永 和幸	谷山北中学校同窓会会長
4	西田 一男	中山町伝統踊り保存会会長
5	林 愛子	中山地区主任児童委員
6	福留 清隆	中山地区民生委員会会長
7	福元 義弘	中山地区あいご会会長
8	藤田 博幸	鹿児島市P連歴代役員
9	山之内 勝己	防犯パトロール隊長(青パト)
10	下窪 みつほ	中山地区民生委員副会長
11	中村 克己	谷山北中学校 校長
12	中窪 道郎	谷山北中学校 教頭
13	上村 俊洋	谷山北中学校 教頭
14	久保 秀仁	谷山北中学校 教務主任
15	喜多村 恵資	谷山北中学校 生徒指導主任

5 その他 今後は、3回(10月・12月・2月)の運営協議会実施予定です。(約1時間程度)

令和7年度 谷山北中学校グランドデザイン

育てたい4つの心

- ◆思いやりの心
- ◆感謝の心
- ◆振り返りの心
- ◆勤労の心

学校は教師にとって

「教育活動実践の場」

学校は生徒にとって

「学習の場」「楽しく安全な場」

学校は保護者にとって

「子どもと共に学ぶ場」

3つの心得

- ◆元気なあいさつ
- ※ 語先後礼
- ◆時間厳守
- ◆無言清掃

学校教育目標

生徒一人一人の“命”を生かすために

地域人として生きる

◆地域で生きる一人として地域の先人を敬い、地域に貢献できる生徒を育てる。

思いをめぐらし、自ら考え、判断し、他者と協働できる たくましい生徒の育成
- 様々な活動とおして非認知能力の育成を目指す -

校訓

「精気」「自主」「友愛」

《経営の基調》日本国憲法、教育基本法並びに鹿児島県・鹿児島市教育振興基本計画等の重点施策に基づいて、生徒や家庭・地域の笑顔を含めた教育を推進する。

- 教育の質の向上を目指した「働き方改革の実践・推進」
- 「信頼される学校づくり推進委員会」
- 教育のDXに向けた、GIGAスクール構想の充実
- 一小一中9年間の連携を通した目指す生徒像の育成

T: TRY (挑戦)
E: Enjoy (楽しむ)
A: All (みんなで)
M: MIX (連携)

TEAM谷北

気付きと実践できる生徒・職員
【礼を正し】【場を清め】【時を守る】

た: 立ち止まっ
に: ニッコリ笑顔で
き: 気持ちのよい
た: 谷北あいさつ

キャリア教育の推進 : 「生きる」が「生かす」へ、「生かす」が「生かされる」へ、「生かされる」が「よりよく生きる」に!

めざす保護者像

- 1 子どもと語り、共に学ぶ保護者
- 2 規範意識を身に付けさせる保護者
- 3 基本的な生活習慣を身に付けさせる保護者
- 4 自らの姿をもって生き方を示す保護者

めざす教師像

- 1 心身ともに健康で人間性豊かな教師
- 2 教育公務員としての自覚を持ち職務に励む教師
- 3 業務改善に努め、研究と修養に励み自己向上を目指す教師
- 4 深い愛情と生徒理解に立って指導する教師
- 5 生徒・保護者・地域から信頼される教師

めざす地域像

- 1 安全安心な環境がある地域
- 2 先輩や先人に学ぶ場がある地域
- 3 お互いあいさつが飛び交う地域
- 4 生徒を励まし育てる地域

学校スローガン (幸せになる)

夢・目標という種をまき、
努力という水をかけ、
励ましという栄養を与え
満足という大きな花を咲かせる。

めざす生徒像

- 1 思いやりの心をもつ、友達と協力できる心豊かな生徒
- 2 よく考え、自ら判断し、正しいことができる生徒
- 3 目標をもち、意欲的に進んで学習する生徒
- 4 「困難にも立ち向かい」粘り強く、最後まで頑張れるたくましい生徒

キャッチフレーズ (合い言葉)

- 「生きる」ために「生かす」
- 「してみせて」、「言ってみせて」
「させてみる」

めざす学校像

- 1 明るく、誠実で活気のある、楽しい学校
- 2 落ち着きと秩序のある、きれいな学校
- 3 生徒一人一人の思いや願いを大切にできる学校
- 4 生徒、保護者や地域から信頼される学校

1 学力の向上

- (1) 学習意欲の向上と学習習慣の確立(進路の実現)
※ 授業につながる家庭学習の実践(自ら学習課題を設定し学習方法を学ぶ)
- (2) 「分かる」「できる」「使える」「生かせる」の授業実践
※ 「学び」が、よりよい生活や生き方に生かせるように
- (3) 指導法の工夫・改善と魅力ある授業の展開(学習者主体の授業)
※ 論理的思考の構築につながる指導法の工夫(学び合い・協働学習)
- ① 一人一人に寄り添った支援(少人数・習熟度別)
- ② 教育機器等の効果的活用(ハイポート枠の活用)
- (4) 教職員の資質向上
① 職員研修の実施(教科枠を超えた相互授業参観とワークショップ等授業研修の推進)
- ② 指導技術の向上(通科授業の取り組みと評価の在り方等の研究推進とおして)
- ③ 研究実践への挑戦(更なる学力向上に向けた研究・実践)
※ 主体的・対話的な深い学びの実践に向けて

各種学力調査平均進捗率全国・県平均以上

モチアコン・ホール(産産・産後の確保)

基礎学力調査(1年10月、2年11月、3年10月)達成率80%

基礎学習態度調査 達成率80%

2 生徒指導の充実

- (1) 生徒指導提要(改訂版)に基づいた校内指導態勢の充実と確実な情報交換及び全職員(チーム)による共通理解と共通実践
- (2) いじめ、不登校、問題行動等への的確な対応と指導
① いじめ実態調査の確実な実施と適切な管理(年5回の実施と公表)
- ② いじめ問題への組織的対応と見届けの徹底
- ③ 不登校生徒一人一人に寄り添った、思いを届ける組織的対応
- ④ ネットトラブルやネット依存防止への取組(外部機関との連携)
- ⑤ 保護者及び関係機関を交えた諸課題の協働的解決
- (3) 家庭・地域・関係機関との緊密な連携の強化
- (4) 積極的な生徒指導(支援)の充実
① 縦割り・無言清掃と語先後礼(礼儀)の実践
- ② 行事を通じた「振り返り」と「学び」の実践
- ③ 県自転車安全条例への対応(ヘルメット及び保険の加入)

気持ちの通い掛けが交わされる学校(いつでも、誰とでも、何回でも)

いじめ問題見逃しゼロと100%の解決

不登校生徒新規出現率ゼロ%

3 「豊かな心と健やかな体」の育成

- (1) 人権教育の充実(人権週間の設定)
- (2) 道徳及び学級活動を通じた体験的学習の充実
① 「考え、議論する道徳」の実践と評価の研究
※ 担任、副担任等による学年一斉授業の実践
- ② 「ライフスキル教育の充実」(認知の要素を取り入れた教育)
- (3) 生徒会活動の充実
① 自治的活動(気付き、考え、実行する)の充実・実践
- ② ボランティア活動の推進
- (4) 読書活動の充実(読書対話や読書発表会等)
- (5) ガイドラインに沿った適切な部活動の運営
※ キャプテン会議の充実:部活動生による秩序ある学校づくり
- (6) 一校一運動(チャレンジ鹿児島)の推進
- (7) 清掃活動の充実(縦割り清掃の充実)と校内設営の充実
- (8) 新しい生活様式に基づく感染防止の推進

ふるさと学習の推進

平均読書冊数60冊

歩いて登下校の推進

心に書く掲示物

4 「開かれた学校づくり」

- (1) 家庭、小学校、地域、関係機関との緊密な連携の推進(外部講師・地域資源の活用促進)※ C・Sに向けての協働体制の確立
- (2) 地域行事への積極的参加と地域貢献
※ 職場体験学習や校区運動会等、地域に貢献できるキャリアパスポート活用
- (3) 学校からの積極的情報発信
○ 南日本新聞等「若い目」への応募(NIEの実践)
- (4) 学校評価等の充実(PDCA)
・ 教職員・学級末学校評価等
・ 生徒・保護者・教職員による「学期別意見シート」の活用(共に振り返り、今後を生かす!)
- ・ 生徒評議員による学校評価(道徳の授業の参観)

思いを届ける各種たよりの発行

世界へ発信 元気な校「HAPPY更新」(1日1回)

生徒、学校、地域が働く(新聞発刊・TVへの活用)

県土交を育む地域・社会教育関係行事等への参加

★ 4月からこれまでを写真で振り返り、教育活動の報告を行いました。



新たに14人の先生方をお迎えし、令和7年度がスタートしました。



新規採用2人(音楽・体育)



新任式 生徒代表あいさつ



始業式校長先生のお言葉



始業式静かに座れる谷北生徒



「憂う」から「優しい」へ



入学式も大成功



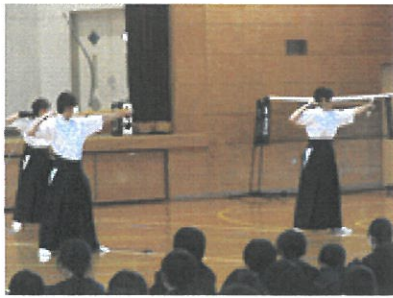
藤元PTA会長の祝辞



入学式 合唱部が校歌披露



生徒会入会式で劇で紹介



部活動紹介 (12個の部活動)



小中連携研修会(中山小と)



役員が活躍した生徒総会



消防依頼の避難訓練(地震)



新学級の様子 (2年生)



生徒会執行部の皆さんが長い時間をかけてつくった今年度の生徒会スローガン。(生徒会担当の山口喜幸教諭のアドバイスのもと)
「いじめのないお互いを思い合える谷山北中の生徒に」という願いが込められています。

